

実施旅行日程記

ヤンゴン・バガン・マンダレー・インレ湖 6泊7日(内機中泊1日)

平成17年 2月

平成17年 3月 12日 記

日付	地名	交通	時刻	摘要
1 6 日 (水)	成田空港 成田発 バンコク着 バンコク発 ヤンゴン着	集 合 TG-641 TG-305	08:45 10:45 15:45 18:00 18:50	第2ターミナル タイ航空カウンター前 タイ国際航空641便で空路バンコクへ バンコクのドンムアン国際空港 タイ国際航空305便に乗り換えミャンマーの首都ヤンゴン(ラングーン)へ 専用車で夕食へ 現地参加の亀倉さんと合流、都合により1泊のみの参加となる トレーダース・ホテル・ヤンゴン泊
1 7 日 (木)	ヤンゴン バゴー	専用車 サイカー フェリー ジープ 専用車	07:00	専用車でヤンゴン川へ 霧の為フェリー は延発、急遽予定を変更し、シュエダゴンパゴダの側にある市場で買い物、その後サイカー10台に分乗街並見学 霧晴れるフェリーで対岸(10分)ヘジープ5台に分乗しトンテ地区の寄付をする公立小学校へ約1時間、トンテ村、戸数80、人口450、公立小学校生徒数62 この時点でも政府の許可おらず、文房具の手渡し贈呈は禁止される。日本語通訳を更に1名追加し個別に教育事情など尋ねてもらう。戻りフェリーでヤンゴン川を超えバゴーの寺子屋へ 昼食を寺子屋先生と一緒にする予定が遅れ果たせず、修復希望の寺子屋視察の後 寺子屋2箇所の生徒数420名と470名、日本からの文房具と現地調達の文房具を寺子屋先生に代表してもらい渡す手はずが行き違いで1人1人の生徒に我々が汗だくで手渡し贈呈、大変だったが良き思い出。日本出発前に各寺に\$1,000を拠出し、黒板2枚、生徒用4人がけ机、椅子30セット、先生用机、椅子2セットを確認。校舎修復を願う貧乏寺子屋の僧侶と会見、西村代議士、三宅市議、沖田町長に代表して貰い、日本からの賛助金一部\$1,500(日本円換算約¥163,500)を直接贈呈 境内にある慰霊碑で慰霊祭、奇遇か！先祖の加勢か！英霊の導きか！その慰霊碑は佐藤 進さん(東京都)のお父さんが亡くなれたペグーの兵隊さんを祭ってあった。 日本大使館にて小田野大使の招待で夕食 トレーダース・ホテル・ヤンゴン泊(22階建て)
1 8 日 (金)	ヤンゴン バガン	6T-401 専用車 馬車 船	06:30 07:50	旅も3日目、参加者一同現地化進む、特に沖田町長(広島県)、違和感なし エアーバガンで空路、古都バガンへ 霧の為出発1時間遅れ アーナンダ寺院を参拝、タビニュー寺院で慰霊碑を慰霊、馬車8台をチャーター 散策後、シュエサンドーパゴダに登る雄大なる遺跡群に驚嘆。 シュエズィゴンパゴダで西村さんタナカ(現地の日焼け止めおしろい)塗る、後一同記念撮影 イラワジ河サンセットクルーズ、この河で亡くなった将兵を偲ぶ。後漆器工房見学 トリピサヤ・サクラ・ホテル泊(コテージスタイル)
1 9 日 (土)	バガン マンダレー	6T-402 専用車	08:10 08:40	ヤンゴン霧の為、飛行機延着2時間遅れ、暇もてあそぶ サガイン・ヒルの慰霊碑を慰霊、読経堂でミャンマー僧侶の読経、靖国の御神酒、南 英雄さん(三重県)が御神酒同期の桜、磯部神社のお札を献納、場所を移し慰霊碑まで黙祷、君が代、海行かばを斉唱、拝礼、後各人参拝、恩賜の煙草を供える。

				焼けた敷石は裸足に堪えた、汗が滲む、万感突き上げるものあり。 サガインヒルの慰霊碑は遠くインパールに向いて建立されていると西村さんに教えられる。 参加者各自から3,000kyatを賛助して頂き計48,000kyat(日本円換算約¥6,000)慰霊碑を管理してくれているミャンマー人管理人に託す。マンダレー観光の目玉である旧王宮は時間の関係で横を通過するのみ。マンダレー ヒルに登る(標高326m丘全体が寺院でマンダレー最大の聖地)、マンダレー・ヒル・リゾート・ホテルにて夕食、すばらしい民族舞踊に感激、西村さんがお礼に謝礼をはずむ、我々も……踊り子全員舞台に参上厚く礼しアンコールを舞う、マンダレーの夜は更けて…… マンダレーは支那人の進出著しく中国の覇権主義をかいま見る。 マンダレー・ヒル・リゾート ホテル泊
20日 (日)	マンダレー ヘーホー インレ湖	6T-403 専用車 船	09:00 09:35	エアーバガンで空路シャン洲のヘーホーへ 専用車でインレ湖へボートに4艘に分乗し水上小学校へ、ジャド村(ジャは蓮の花、ドは森という意味)戸数150、人口500、トマトの栽培と淡水魚の漁が主体、あまり豊かでない。日曜日にもかかわらず先生全員と101名生徒中96名参加、ノート鉛筆を参加者全員で手分けし生徒1人1人に手渡しする。ミャンマーは幼稚園、1年、2年、3年、4年の5年制。配り終えた後、お茶を御馳走になる。そこでまた皆から2,000kyatを寄附して貰い計32,000kyat(日本円換算約¥4,000)を先生方に贈呈、ちなみにミャンマー人の国民所得平均は年収で\$180、公立小学校月謝50kyat(約6円)寺子屋の先生月\$6だそうです。印字ミスではありません。チャド村公立小学校生徒数内訳、幼稚園30名、1年生21名、2年生18名、3年生19名、4年生13名、計101名 手を振って見送りしてくれる先生生徒をあとにする。インレ湖にそびえる巨大なパンドーウ・パゴダ見学、ガーペーチャウン寺院、通称猫寺、いたいた小泉という猫が一生涯懸命芸してた日本でもこの位して頂けるとありがたいんだけどなアー特に拉致問題。インレ湖にて浮き畑のトマト栽培を見る、実にうまい。ここのトマトは支那に輸出されている。最近では花の栽培にも力をいれている。 フービン・カウダイ ホテル泊 (インレ湖の上に建つ)
21日 (月)	インレ湖 ヘーホー ヤンゴン着	船 6T-404 専用車	06:30 09:55 11:05	4艘+荷物用1艘計5艘で出発 エアーバガンで空路ヤンゴンへ 旅の最後の慰霊、日本国が管理してる慰霊碑で慰霊、日本人墓地にて僧侶による読経仏式で参拝、その後靖国御神酒、靖国絵馬、御神酒同期の桜、花輪、奉納に続いて、黙祷、君が代、海行かば、を斉唱、2拝2拍手1拝の拝礼、各自による献花、その時、恩賜の煙草をいただいて～(空の勇士)の浪々とした唄声、篠澤 善一郎さん(福島県) 昼食後、撮影担当稲川 和男さん(千葉県) VTRテープ無くなり買いに走る。後、西村代議士、三宅市議、沖田町長は元通産大臣のエーベル氏とトレーダース・ホテル・ヤンゴンで会見、他の同志は、シュエダンゴオンパゴダ見学、アウンサン・ボージョー市場で買い物
	ヤンゴン発 バンコク発	TG-306 TG-622	21:35 23:59	タイ国際航空で空路バンコクへ タイ国際航空で空路、成田空港へ 機中泊
22日 (火)	成田着		07:30	成田空港到着、解散 お疲れ様でした